

## 5月のテキゴト

いずみ自然塾 自然を育む輪を広げよう

5月16日(日) 10:00～12:00 令和3年度第2回目いずみ自然塾 「城山の自然」

### 1. テーマ・開催場所等

#### 1) テーマ

城山の自然

#### 2) 開催場所

今年度第2回目のいずみ自然塾は  
新型コロナウイルスの感染予防の為、  
集団行動を避け「環境学館いずみ  
学習室での開催となりました。

#### 3) 講師

講師は、「坂戸サワギキョウの会」  
代表の萩原 章 先生です。  
城山の近くにお住まいで、当会で  
20年近く活動されています。



萩原 章 講師

#### 4) 受講者

受講したのは、自然観察会のメンバー10名です。  
ボランティアのメンバーも参加させてもらいました。

### 2. 資料での説明

配付資料およびプロジェクターで、「城山の自然」を紹介していただきました。

内容は、今年の3月に坂戸市のホームページにも掲載されている「坂戸の自然、川と共に ～環境学館いずみ 自然観察会の成果～」の「城山」の部分を抜き出しての説明です。

#### 1) 城山の概略

- ・城山は八高線に至る東西の尾根道で南と北に分けられる。
- ・南側は起伏に富んで高麗川に接し、北側はなだらかに新しき村へ至る。



## 2) 植物 (誰もが行って目につくものを中心に紹介)

### ① 城山の南側

- ・スミシは 4 月頃に咲く  
(今年は例年より早かった)
- ・コアジサイは今が見ごろ  
(普通のアジサイより小ぶり)

### ② 城山の北側

- ・コクランは 6 月に出る新しい葉から  
花茎を伸ばし暗紫色の花を付ける。  
(黒っぽいので、名前“コクラン”の  
云われ)
- ・サワギキョウは城山を象徴する希少  
な植物で自生している。  
普通は高原に生えるものだが、豊富な城山の湧水で山全体が清涼に保たれているからと考え  
られている。
- ・ヌマガヤは 10 数年前に埼玉では初めて城山で発見された。



講座風景

### 3) 鳥たち

- ・フクロウは音をたてずに森の木々の間をすり抜けるように飛ぶ。  
夜行性で夜にネズミなどを捕獲する。  
いろいろ他の鳥たちと違った面白い  
特徴がある。「羽根の形」「顔を 180°  
回転できる」「両耳の位置が上下に  
ズれている」
- ・キビタキは姿を見つけるのはなかなか  
大変だけど、初夏に美しいさえずり  
を聞くことができる。



講座風景

### 4) 虫たち

- ・コツバメは、城山以外の場所では見た  
ことがない。  
縄張りがあり、他のチョウが飛んだだけでもその名(ツバメ)のとおり、素早く  
追いかける。
- ・ミヤマセセリは日当りの良いところで見かける。
- ・ルリシジミは、その名のとおり明るく輝いた例えようもない美しい色である。
- ・オオムラサキは日本の国蝶として有名であり、たまに見かける。  
成虫はクヌギなどの樹液に集まってくる。

### 3.採集品の展示と説明

萩原講師がご自分で採集した貴重品をご持参の上、展示と共に説明もしてもらいました。



採集品の説明風景

事例を以下に載せます。

#### ・火山灰

分析することで、どこから飛んできたかわかる。  
(主には箱根・八ヶ岳等関東であるが遠く桜島からもあるとか・・・)

#### ・貝の化石(ミスジマイマイ・ヒダリマキマイマイ等)

昔は海だったことが分かる。

#### ・野鳥の巣(シジュウカラ・エナガヒヨドリ)

#### ・昆虫の標本(ミカドガガンボ等)



貝の化石



エナガの巣



ミカドガガンボ

記：KI